



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄
(コード番号 4064 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 角田 尚久
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 8 月 9 日に開示いたしました「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,132	9.7	298	5.0	444	122.1	133	113.7
25年3月期第1四半期	11,976	△5.4	283	△63.6	200	△68.1	62	△78.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,297 百万円 (87.1%) 25年3月期第1四半期 693 百万円 (7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.63	—
25年3月期第1四半期	0.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	63,286	19,549	29.5
25年3月期	59,823	18,430	29.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,670 百万円 25年3月期 17,662 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	9.2	600	113.6	700	242.7	400	—	4.88
通期	54,000	6.7	2,300	165.4	2,100	133.7	1,000	928.4	12.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	81,940,298 株	25年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	56,797 株	25年3月期	55,669 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	81,884,029 株	25年3月期1Q	81,886,430 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年5月14日公表の第2四半期連結累計期間業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかに回復しているものの、欧州諸国の債務問題に未だ改善が見られないことに加え、中国を中心としたアジア新興国における成長ペースの鈍化などにより、依然として停滞感が残る状況で推移しました。また、わが国においては、景気回復政策への期待から円安・株高基調で推移したことに加え、個人消費に持ち直しの兆しが見えるなど、景気回復への動きが見られました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、デジタル家電向けは低迷が続いているものの、輸出環境は徐々に改善され、加えて円安の影響もあり、全般的に緩やかな回復傾向で推移しました。また、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は 131億3千2百万円と前年同期比 11億5千6百万円 (9.7%増) の増収、営業利益は 2億9千8百万円と前年同期比 1千4百万円 (5.0%増) の増益、経常利益は 4億4千4百万円と前年同期比 2億4千4百万円 (122.1%増) の増益、四半期純利益は 1億3千3百万円と前年同期比 7千1百万円 (113.7%増) の増益となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD. を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に報告セグメントを変更しております。

この変更に伴い、以下の前年同期比については、変更後の報告セグメントに基づき組替えたうえで比較しております。

(機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどです。

このうち、ファインケミカル製品は医薬・農薬関連向けなどが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂製品は国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着製品は光学関連分野向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。マーキングフィルムは国内向けは堅調に推移しましたが、海外向けが低迷し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が伸長し、前年同期比増収となりました。包装用フィルムは中国での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は 64億4千2百万円と前年同期比 2億1千6百万円 (3.5%増) の増収となったものの、原材料価格の上昇などにより、セグメント利益は 6億7千5百万円と前年同期比 3千9百万円 (5.6%減) の減益となりました。

(電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、再帰反射シートは欧州向けは低調でしたが、円安の進行もあり、前年同期比増収となりました。セラミック基板はデジタル家電向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。プリント配線板は液晶関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は33億4千4百万円と前年同期比8千万円(2.5%増)の増収となったものの、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響などもあり、2億5千4百万円(前年同期は3億7千2百万円の損失)となりました。

(建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

主力の手摺、笠木等の販売は健闘しましたが、売上高は22億5千万円と前年同期比2千7百万円(1.2%減)の減収、セグメント利益は5千8百万円と前年同期比4百万円(6.5%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、売上高は11億4百万円と前年同期比2千4百万円(2.2%減)の減収となりましたが、セグメント利益は1千3百万円(前年同期は1千8百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比34億6千2百万円増加し、632億8千6百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比26億円増加し、301億7千8百万円となりました。固定資産は、設備投資などにより、前期末比8億6千2百万円増加し、331億7百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前期末比23億4千2百万円増加し、437億3千6百万円となりました。

このうち、流動負債は、仕入債務や短期借入金の増加などにより、前期末比24億5千1百万円増加し、297億9千9百万円となりました。固定負債は、役員退職慰労引当金の取崩などにより、前期末比1億9百万円減少し、139億3千6百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、円安の影響に伴う為替換算調整勘定の変動などにより、前期末比11億1千9百万円増加し、195億4千9百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じ29.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、中国並びに東南アジア地域での増販や光学関連分野向け接着製品の堅調な需要が見込まれるなど、当面は緩やかな回復傾向で推移することが予想されますが、欧州諸国の債務問題に懸念が残っていることや、為替の変動・原材料価格の動向などの不透明な要因もあり、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況を踏まえ、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を以下のとおり修正しておりますが、通期の業績予想については修正しておりません。

平成26年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月14日発表)	24,000	500	400	200	2円44銭
今回修正予想(B)	26,000	600	700	400	4円88銭
増減額(B-A)	2,000	100	300	200	—
増減率(%)	8.3	20.0	75.0	100.0	—
前期(平成25年3月期)実績	<u>23,801</u>	<u>280</u>	<u>204</u>	<u>△6</u>	<u>△0円07銭</u>

(ご参考) 通期の連結業績予想(平成25年5月14日公表)

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
54,000	2,300	2,100	1,000	12円21銭

2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872	6,147
受取手形及び売掛金	13,542	14,354
商品及び製品	4,954	5,427
仕掛品	1,533	1,400
原材料及び貯蔵品	1,781	2,041
その他	989	910
貸倒引当金	△94	△102
流動資産合計	27,577	30,178
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,400	7,006
土地	14,063	14,256
その他(純額)	6,610	7,152
有形固定資産合計	27,074	28,415
無形固定資産	403	492
投資その他の資産		
その他	4,941	4,430
貸倒引当金	△173	△231
投資その他の資産合計	4,767	4,199
固定資産合計	32,245	33,107
資産合計	59,823	63,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,862	10,565
短期借入金	14,019	15,378
未払法人税等	292	196
賞与引当金	504	547
その他	2,668	3,112
流動負債合計	27,348	29,799
固定負債		
長期借入金	6,830	6,841
退職給付引当金	2,904	2,862
役員退職慰労引当金	192	94
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	232	252
固定負債合計	14,045	13,936
負債合計	41,393	43,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,616	2,576
自己株式	△9	△9
株主資本合計	12,045	12,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△90	△14
繰延ヘッジ損益	△46	△3
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△1,184	△255
その他の包括利益累計額合計	5,617	6,665
少数株主持分	767	879
純資産合計	18,430	19,549
負債純資産合計	59,823	63,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	11,976	13,132
売上原価	9,105	10,102
売上総利益	2,871	3,030
販売費及び一般管理費	2,587	2,732
営業利益	283	298
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	26	43
為替差益	—	154
その他	57	38
営業外収益合計	95	245
営業外費用		
支払利息	63	62
為替差損	72	—
その他	43	36
営業外費用合計	179	99
経常利益	200	444
特別利益		
固定資産売却益	—	13
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産除却損	—	6
投資有価証券等評価損	24	—
減損損失	—	62
特別退職金	—	132
特別損失合計	24	201
税金等調整前四半期純利益	176	256
法人税、住民税及び事業税	184	187
法人税等調整額	△136	△110
法人税等合計	48	76
少数株主損益調整前四半期純利益	128	179
少数株主利益	65	46
四半期純利益	62	133

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	128	179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	96
繰延ヘッジ損益	0	43
為替換算調整勘定	668	977
その他の包括利益合計	565	1,117
四半期包括利益	693	1,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589	1,164
少数株主に係る四半期包括利益	103	133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	6,190	3,263	2,275	582	12,310	△334	11,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	1	2	547	586	△586	—
計	6,226	3,264	2,277	1,129	12,896	△920	11,976
セグメント利益又は 損失(△)	715	△372	62	△18	386	△185	200

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	6,433	3,344	2,250	776	12,804	328	13,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	0	0	328	336	△336	—
計	6,442	3,344	2,250	1,104	13,140	△8	13,132
セグメント利益又は 損失(△)	675	△254	58	13	492	△48	444

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、事業・開発体制を一層強化し、連携・シナジー効果の促進、更には経営効率の向上と戦略機能の強化を図るため、平成25年4月1日付で組織変更しております。

この組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,200	9.9	351	12.1	493	114.6	180	90.4
25年3月期第1四半期	12,014	△5.0	313	△60.7	229	△64.5	94	△68.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,433 百万円 (97.5%) 25年3月期第1四半期 725 百万円 (9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.20	—
25年3月期第1四半期	1.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	63,852	20,249	30.3
25年3月期	60,285	19,001	30.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 19,369 百万円 25年3月期 18,233 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	9.0	600	35.3	700	90.9	400	175.8	4.88
通期	54,000	6.3	2,300	112.8	2,100	88.7	1,000	114.5	12.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	81,940,298 株	25年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	56,797 株	25年3月期	55,669 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	81,884,029 株	25年3月期1Q	81,886,430 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年5月14日公表の第2四半期連結累計期間業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかに回復しているものの、欧州諸国の債務問題に未だ改善が見られないことに加え、中国を中心としたアジア新興国における成長ペースの鈍化などにより、依然として停滞感が残る状況で推移しました。また、わが国においては、景気回復政策への期待から円安・株高基調で推移したことに加え、個人消費に持ち直しの兆しが見えるなど、景気回復への動きが見られました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、デジタル家電向けは低迷が続いているものの、輸出環境は徐々に改善され、加えて円安の影響もあり、全般的に緩やかな回復傾向で推移しました。また、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は 132 億円 と前年同期比 11 億 8 千 5 百万円 (9.9%増) の増収、営業利益は 3 億 5 千 1 百万円 と前年同期比 3 千 7 百万円 (12.1%増) の増益、経常利益は 4 億 9 千 3 百万円 と前年同期比 2 億 6 千 3 百万円 (114.6%増) の増益、四半期純利益は 1 億 8 千万円 と前年同期比 8 千 5 百万円 (90.4%増) の増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に報告セグメントを変更しております。

この変更に伴い、以下の前年同期比については、変更後の報告セグメントに基づき組替えたうえで比較しております。

(機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどです。

このうち、ファインケミカル製品は医薬・農薬関連向けなどが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂製品は国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着製品は光学関連分野向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。マーキングフィルムは国内向けは堅調に推移しましたが、海外向けが低迷し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が伸長し、前年同期比増収となりました。包装用フィルムは中国での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は 64 億 4 千 2 百万円 と前年同期比 2 億 1 千 6 百万円 (3.5%増) の増収となったものの、原材料価格の上昇などにより、セグメント利益は 6 億 8 千 9 百万円 と前年同期比 2 千 6 百万円 (3.6%減) の減益となりました。

(電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、再帰反射シートは欧州向けは低調でしたが、円安の進行もあり、前年同期比増収となりました。セラミック基板はデジタル家電向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。プリント配線板は液晶関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は33億4千4百万円と前年同期比8千万円(2.5%増)の増収となったものの、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響などもあり、2億5千4百万円(前年同期は3億7千2百万円の損失)となりました。

(建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

主力の手摺、笠木等の販売は健闘しましたが、売上高は22億5千万円と前年同期比2千7百万円(1.2%減)の減収、セグメント利益は5千8百万円と前年同期比4百万円(6.5%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、売上高は11億2千万円と前年同期比1千2百万円(1.1%減)の減収となりましたが、セグメント利益は1千9百万円と前年同期比2百万円(11.8%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比35億6千6百万円増加し、638億5千2百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比25億1千3百万円増加し、303億7千5百万円となりました。固定資産は、設備投資や投資有価証券の取得などにより、前期末比10億5千3百万円増加し、334億7千6百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前期末比23億1千8百万円増加し、436億3百万円となりました。

このうち、流動負債は、仕入債務や短期借入金の増加などにより、前期末比24億9千2百万円増加し、297億3千1百万円となりました。固定負債は、役員退職慰労引当金の取崩などにより、前期末比1億7千3百万円減少し、138億7千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、円安の影響に伴う為替換算調整勘定の変動などにより、前期末比12億4千8百万円増加し、202億4千9百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.2%から0.1ポイント改善し、30.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、中国並びに東南アジア地域での増販や光学関連分野向け接着製品の堅調な需要が見込まれるなど、当面は緩やかな回復傾向で推移することが予想されますが、欧州諸国の債務問題に懸念が残っていることや、為替の変動・原材料価格の動向などの不透明な要因もあり、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況を踏まえ、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を以下のとおり修正しておりますが、通期の業績予想については修正しておりません。

平成26年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月14日発表)	24,000	500	400	200	2円44銭
今回修正予想(B)	26,000	600	700	400	4円88銭
増減額(B-A)	2,000	100	300	200	—
増減率(%)	8.3	20.0	75.0	100.0	—
前期(平成25年3月期)実績	<u>23,862</u>	<u>443</u>	<u>366</u>	<u>145</u>	<u>1円77銭</u>

(ご参考) 通期の連結業績予想(平成25年5月14日公表)

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
54,000	2,300	2,100	1,000	12円21銭

2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872	6,020
受取手形及び売掛金	13,706	14,594
商品及び製品	4,955	5,439
仕掛品	1,611	1,455
原材料及び貯蔵品	1,823	2,063
その他	989	904
貸倒引当金	△94	△102
流動資産合計	27,862	30,375
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,451	6,947
土地	14,063	14,066
その他(純額)	6,625	6,635
有形固定資産合計	27,139	27,649
無形固定資産		
	403	492
投資その他の資産		
その他	5,053	5,565
貸倒引当金	△173	△231
投資その他の資産合計	4,879	5,334
固定資産合計	32,423	33,476
資産合計	60,285	63,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,862	10,590
短期借入金	14,019	15,378
未払法人税等	276	179
賞与引当金	504	547
その他	2,575	3,036
流動負債合計	27,239	29,731
固定負債		
長期借入金	6,830	6,841
退職給付引当金	2,904	2,862
役員退職慰労引当金	192	94
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	232	187
固定負債合計	14,045	13,871
負債合計	41,284	43,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	3,187	3,204
自己株式	△9	△9
株主資本合計	12,616	12,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△90	△14
繰延ヘッジ損益	△46	△3
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△1,184	△184
その他の包括利益累計額合計	5,617	6,736
少数株主持分	767	879
純資産合計	19,001	20,249
負債純資産合計	60,285	63,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	12,014	13,200
売上原価	9,129	10,130
売上総利益	2,885	3,069
販売費及び一般管理費	2,571	2,718
営業利益	313	351
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	26	43
為替差益	—	151
その他	57	38
営業外収益合計	95	243
営業外費用		
支払利息	63	64
為替差損	72	—
その他	43	36
営業外費用合計	179	101
経常利益	229	493
特別利益		
固定資産売却益	—	13
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産除却損	—	6
投資有価証券等評価損	24	—
減損損失	—	62
特別退職金	—	132
特別損失合計	24	201
税金等調整前四半期純利益	205	305
法人税、住民税及び事業税	184	187
法人税等調整額	△138	△108
法人税等合計	45	79
少数株主損益調整前四半期純利益	160	226
少数株主利益	65	46
四半期純利益	94	180

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160	226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	96
繰延ヘッジ損益	0	43
為替換算調整勘定	668	1,066
その他の包括利益合計	565	1,206
四半期包括利益	725	1,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	1,299
少数株主に係る四半期包括利益	103	133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	6,190	3,263	2,275	585	12,313	△299	12,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	1	2	547	586	△586	—
計	6,226	3,264	2,277	1,132	12,899	△885	12,014
セグメント利益又は 損失(△)	715	△372	62	17	422	△193	229

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	6,436	3,344	2,250	792	12,822	378	13,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	0	0	328	334	△334	—
計	6,442	3,344	2,250	1,120	13,156	44	13,200
セグメント利益又は 損失(△)	689	△254	58	19	512	△19	493

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、事業・開発体制を一層強化し、連携・シナジー効果の促進、更には経営効率の向上と戦略機能の強化を図るため、平成25年4月1日付で組織変更しております。

この組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。